

# 「コミュニケーション型共同研究」ここがポイント

コミュニケーション型共同研究では阪神高速グループのニーズ(大規模修繕・更新、長寿命化、減災、安全対策、ICT、IoT、AIビッグデータ、ITS、異分野・業種融合等)について、皆さまがお持ちの幅広いシーズ(技術・材料・工法)を募集しています。従来の新技術募集や技術開発では解決することが出来なかった課題に対して、相互にコミュニケーションをとりながら新たな価値を創造しませんか。応募していただいたシーズと阪神高速グループのニーズのマッチングを模索し、試験施工や共同研究による技術開発に結びつけたいと考えています。



**ポイント 1** 一方通行になりがちであった共同研究のテーマをコミュニケーションによって、相互の意見をふまえて技術開発を行うことができます。

**ポイント 2** 何に使っていいかわからない技術、使う方法が思いつかない技術について、阪神高速グループと一緒に考えることができます。

**ポイント 3** 共同研究によって開発した技術を、阪神高速のフィールドで試験施工することができ、実用的な研究開発ができます。

※業務や工事の受注時に、該当する技術の共同研究成果を有していることで加点される場合があります。

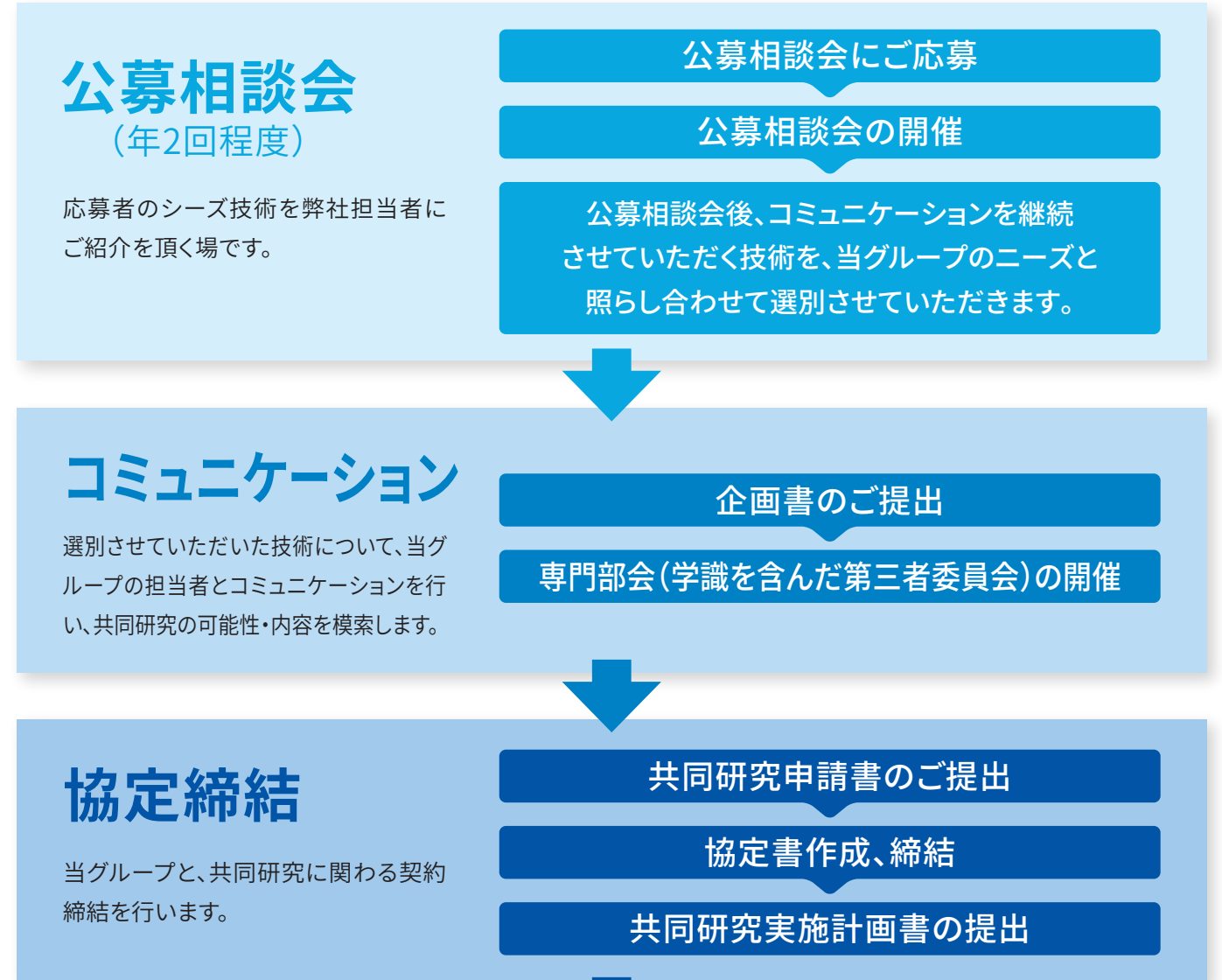
## FAQ

- Q1. 阪神高速の具体的なニーズはありますか?** A1. コミュニケーション型共同研究では阪神高速の具体的なニーズは提示せず、貴社がお持ちのシーズをご応募していただいた後のコミュニケーションで阪神高速のニーズとのマッチングをはかる方式です。阪神高速のビジョンなどニーズの参考となる資料は下記のリンクからご参照ください。
- Q2. 共同研究にかかる費用の負担はどうなりますか?** A2. 基本的には御社と弊社の折半です。共同研究によって創出される特許等の知財の比率と比例した費用負担となります。ただし、知財等を得ない部分に関する費用負担については応相談です。契約書締結前に協議させていただきます。
- Q3. 共同研究への提案内容が試験施工のみとなる場合でも公募相談会への応募は可能でしょうか?** A3. コミュニケーション型共同研究では、シーズとニーズの融合により新たな価値を創り出しながら、研究開発することを目指しています。従って、研究開発済の既存技術や、試験施工のみの応募は控えてください。

その他のよくあるご質問、募集ニーズなどの詳細は、  
下記ホームページもご覧ください(2019年8月募集ページ)  
[https://www.hanshin-exp.co.jp/company/topics/post\\_336.html](https://www.hanshin-exp.co.jp/company/topics/post_336.html)



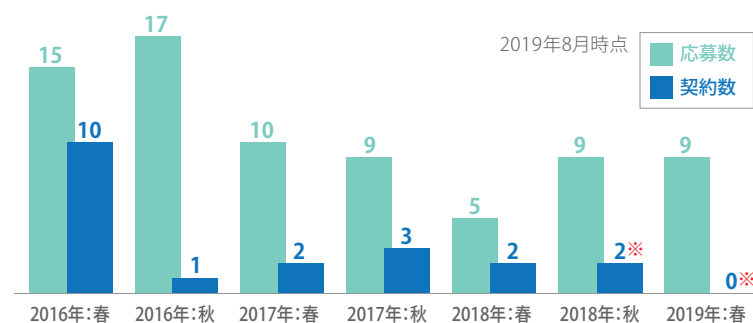
# コミュニケーション型共同研究の流れ



## 共同研究の開始

※応募していただいた技術の内容により、阪神高速道路(株)だけではなく、当社グループ会社及び(一財)阪神高速道路技術センターとの共同研究になる可能性があります。

## 過去3年間の公募相談会応募実績・契約件数



※直近2回の公募相談会については、共同研究契約締結に向けたコミュニケーションを継続中です。